

令和4年度
泉佐野市立児童発達支援センター
保護者等からの自己評価結果表

令和5年4月

泉佐野市立児童発達支援センター
児童発達支援「木馬園」
泉佐野市子育て支援課

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 2日

事業所名 泉佐野市立児童発達支援センター

保護者等数(児童数)

47 回収数

28 割合

60 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	50%	25%	21%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・いちごグループの保育室が狭い。子どもが思いきり走り回れない。 ・いちごグループの部屋が狭すぎる。人数は少ないが病気の感染も他のクラスより目立つように感じた。 ・クラスにより少し狭そうなクラスもある気がします。 ・クラスによって活動スペースが小さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の広さは国の基準を満たしていますが親子保育の日は活動が制限される等の課題は認識しています。日々の活動の工夫や保育室の使い方の工夫は引き続き行いながら、今後保育室のスペース確保の改善について検討していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	61%	29%	7%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・OT、PT、STの職員はもつと必要と思います。担任も手いっぱいかな、と。 ・昼ごはんの時など、クラス全員が揃っている時は先生の数が少ないと思う。 ・職員の数が多く、安心して預けることができる。 ・国の基準は満たしているのですが、手が足りていないように見えます。ST、OTの先生を増やしてください。 ・人数足りていますか？担任の先生は本当にそう思っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数については、国基準を上回る配置をしています。活動内容や、食事介助、午睡時等、必要に応じて応援し、対応するよう努めています。 ・各訓練士の増員配置については訓練室のスペースとの兼ね合いもあり、子どもが安全に、また集中して訓練に向かえるような環境も大切であると考えていますので、今後も総合的に考え検討していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	61%	14%	18%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・設備はバリアフリー化されていない。2階へ上がる手段は階段のみ。 ・建物が古いということもあると思いますが、わかりやすいかと言われると微妙。OTの診察の際絵カードを使って説明してもらえて、とてもすんなり理解できているので、視覚支援ももう少し増えるといいなと思います。 ・それぞれの子ども達にあった環境になっていると思います。 ・訓練室のセラピーマットが劣化していて、粉が出てきていつも洋服や子どもの髪につく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーで安全に過ごしていただける施設であるべきですが、現状では難しいところもあります。現状の施設で可能な限り、安全面に配慮できる工夫をしていきたいと考えております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	61%	29%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが男女別ではない。 ・トイレの環境をどうにかしたらいいと思う。特に一階のトイレ。 ・掃除は行われているが老朽化している。 ・いつもきれいな保育室で楽しんで通えています。 ・毎日掃除をしてきれいです。 ・元気で動ける子はいいが、そうでない子に合っているかわからない。 ・おもちゃや絵本など、古いものが多く、清潔感を感じにくい、ままごとのオモチャもクラスによって量が違っていたり、偏りがある。 ・底冷えがひどい。床暖かさせてマットを全面敷いてほしい。 ・トイレの古さと臭いが気になる。 ・施設が古すぎて掃除がきちんとされているのかすらわからない。 ・トイレの掃除をしていただいているのは知っていますが、床が少し不衛生に感じる時があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレについては、現状を確認し、改修に向けて検討しているところです。 ・古い施設ではありますが、掃除は毎日丁寧に行っています。また、子どもの状態に合わせ、訓練士の助言のもと、様々な器具やスロープ等職員が懸命に手作りしており、できかぎりの工夫をしておりますのでご理解いただくとともに、引き続き、衛生面、安全面において工夫していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	89%	4%	0%	7%	・支援計画の話合いがしっかりあるので、ニーズを分析してもらえていると思います	・職員間で十分に分析、計画し、保護者と共有していきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	68%	11%	0%	21%		・個別支援計画で、各項目について説明し、計画に沿った支援内容を設定します。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	68%	25%	0%	7%	・すべては実施されていない ・本当に支援計画通りに支援されているか不明確。	・計画内容、支援内容について保護者の方と共有できるように努めていきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	54%	29%	0%	14%	・よく似たような内容ばかりの印象。固定化が良いのか違った内容をする方がよいのかはどちらがいいかわからない。ただ本人は楽しんでいる様子なので、親としては良いかなと思う ・家庭ではやりにくいような遊びをさせてくれてありがとうございます。はじめは抵抗のあったスイミング療育ですが、子どもがとても喜んでいて頑張り甲斐がありました。 ・固定化しているように思う。	・子どもの状態を共有する中で、必要に応じて活動プログラムの変更等検討しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4%	86%	11%	0%	・定型発達の子ともたちと交流する機会は一度もなかった。 ・コロナでできていないのかは分からないですが、あったらいい刺激になるのかな?とは思っています。 ・今後のことを考えると、障害のない子どもたちとの交流は多少は必要なのかもしれない。 ・コロナ禍のため、行われていない。 ・障害のない子どもと交流する機会があればよいという親が多いが、そういう機会は無い。 ・そのような機会は無い。 ・来年度はコロナを気にせず交流の場が持てるような機会があれば嬉しい。 ・活動の機会が全くないので作ってほしい。障害のある子を健常の子に知ってもらうのも共存していくには大切なことだと思う。 ・全くない。	・令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施できませんでしたが、次年度は計画的に実施を検討していきます。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	82%	11%	0%	7%	・利用者負担について、説明されたか記憶にない。	・利用説明会の時に重要事項説明書の説明をしていますが、保護者の方にわかりやすく説明できるよう工夫していきます。また、不明な点については随時対応します。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	89%	4%	0%	7%		・児童発達支援計画の共有の際に、ガイドラインに基づき作成していることも伝えていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	64%	11%	11%	14%	・定期的に行われている。 ・勉強会があり、自由に参加ができる。子どもとの関わり方を知る、良い機会でもある。 ・初めて聞いたためわからない(ペアレントトレーニングについて) ・木馬では機能していない。	・木馬園では実施していませんが、担当課の職員が市民向けにペアレント・プログラムを実施しています。木馬園での実施については今後検討していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	86%	11%	0%	4%	・日頃からノートや口頭で教えてもらっています。	・日頃から保護者の方と伝えあうことを意識し、子どもの共通理解に努めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	71%	25%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が働きかける必要がある。 ・困ったことがあればノートや親子保育の時などに聞いたりしています。 ・先生を変え、似たような内容の面談があるので、情報共有するなどして回数を減らしてほしいです。必ずしも話したい人ばかりではありません。進路面談は希望者のみにしてほしいです。 ・その都度困ったことがあれば親から質問等することが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な保護者の方のご意見がありますので、意向を聞きながらお話しする機会をもったり、発信していきたいと思えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	68%	25%	4%	4%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の活動については担当職員を中心に連携していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	82%	7%	4%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職が代わってから素早く動いてくれたり聞いてくれたりするようになって、目に見えて変わった気がする。 ・相談した際、先生たちすぐに話合ってくれて対応してくれた時すごく嬉しかった。いつも真摯に対応してくれてとても有難い心強い、安心できる。 ・経過、結果報告はもう少ししっかりしていただきたいです。 ・親の意見に対し、“できない”と理由もなしに言いきり全く話を聞こうとしない職員がいる。管理職には不向き。そのような考え、行動を改めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方からのご意見に対し、可能なことはできる限りすぐに対応しよう心がけてきましたが、内容によっては十分な検討が必要なこともあり、時間がかかっていることは認識しています。検討内容の進捗状況は随時報告するよう努めていきます。また、ご意見に対し、全てにお応えできない場合は、必ずその理由を説明しておりますが、その場で判断できないことについては曖昧な対応にならないよう気をつけ、明確な対応に努めていきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	89%	0%	4%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートや登園したときなどに話できる時はしたりしています。 ・基本的に伝達事項は親が各自確認するスタイルです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子は会話や連絡ノートで伝えるようにしています。情報の伝達については、様々な職種の職員がいるので、その都度伝え合うよう今後も意識していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	61%	11%	7%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ(保護者だけが見られるもの)を作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方へのわかりやすい情報提供の方法について研究していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	82%	7%	0%	11%		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いには全職員十分注意しています。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	79%	7%	4%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・説明をされたことがない。 ・訓練は定期的にして下さっていますが、言語理解の難しい子や突然の出来事への対応が難しい子たちの集まる園であることを踏まえて、もう少し工夫していただきたいです。靴のサイズも足りないようであれば上靴で過ごすようにしてそのまま逃げてはいけませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルは作成しています。 ・災害はいつ起こるか分からないため、適応困難な子どもの対応についても避難訓練を実施する中で個々に必要な配慮の把握に努めていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事態を想定した訓練を行っています。
	22	子どもは通所を楽しみにしている	82%	18%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・通園の日はニコニコです。 ・家を出るまでは嫌と言うが、出たしまえば楽しみにしています。 ・子どもは先生方のことが大好きで、毎日楽しんでよい表情で帰ってきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「木馬園が大好き」と思い通園できるよう今後も職員一同努力していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	23	事業所の支援に満足している	64%	21%	4%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・何に関しても手厚くして頂いて大満足させてもらっています。 ・とにかく職員の方は寄り添って声をかけてくれる方ばかりで、親自体も助けられて、大満足です。 ・子供の将来を考えるとどうしてもお金が必要になると思うので、保護者の就労が可能となるような保育時間を考慮してほしい。 ・支援計画に基づいて支援されているかが不明確ゆえ、療育に通わせている感じになっていない。マスクをしていないor鼻が出ている状態で子ども達と接しているのを見ると不安になっている。保育士としてはいい先生だけど、療育の先生としては満足まではいかない。 ・完璧を提供したいとお考えのようですが、いろいろな考え方や事情を認めてほしいと感じます。一緒に試行錯誤していただける組織であってほしいです。 ・誰のための施設なのか、根本的に見直すことで改善点が見つかると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の様々なニーズを受け止め、考えていく姿勢でいます。事業内容について、市全体に関わること、センター内で完結できることを整理し、子どもにとって、また、保護者の方々にとって利用しやすい事業の提供に向けて、保護者の方のご意見も聞きながら引き続き、可能な限り今できることを検討していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。